

「志」を同じくする調査士の皆さんへ

全国JOネットワーク・調査士による地図（不動産）情報研究会 設立趣意書

朝晩が急に涼しく、肌寒くなりました。

皆様お元気ですか、突然ですが、一つの提言をさせていただきます。

ひとりでできないことも力を合わせれば可能になります。

今風に言えば、ネットワークを組むということでしょうか。

このことは、土地家屋調査士の職能においても言えると思いますが、今まで試みられたことはありません。しかし、調査士がノウハウを結合すれば思わぬ未来、可能性が見えてきます。私達はこの可能性を調査士による地図（不動産）情報システムというベンチャービジネス部門を見い出そうとしています。その実現には足腰の強い「職能集団」のネットワークづくりを必要とします。不可能なことではないと信じます。

その根拠は、調査士の宿命は仕事の狭さです。報酬はともかくとしても、仕事の件数はバブル期も含め減少の傾向にあります。報酬とて近未来の行政改革、規制緩和、透明性そして価格破壊等の社会情勢から一時の夢に終らないとも限りません。

今までの市場構成の延長線では、飛躍のチャンスはありません。貴方に問いかけます。貴方の事務所で一年間に閲覧する地図と登記簿の筆数を考えてみて下さい。連合会の集計では、土地の境界に係る業務は669,528件と報告されています。従いまして一件当たりの閲覧は、地図についてはB4で2枚から3枚、登記簿については20筆と仮定しますと、地図の枚数で150万枚、筆数では1000万筆超となります。しかも、これが業務の全てではありません。もし貴方が、この情報をネットワークで結んだと想像してみてください。地図と不動産の情報を一枚のCDに書き込むとしたら・・・と考えてみてください。しかもこのことが、全国の「志」を同じくする調査士が、全国の都市部で一斉に行われるとしたら・・・、思わぬ新たな市場、展開がみえてきます。

昨年、私達は長野県松本市で「国民の利便に資する地図作りに挑戦する」ことを宣言しました。しかし、ただ待っているだけでは地図は作れません。このことにチャレンジするなら準備が必要です。そのためには日常業務においても「地図作りを意識」しながら、取り敢えず資料の収集・整理を行い、「素図」を作る事から始めてみませんか？

つまり地図＝精度にこだわらず「インデックス・マップ」からスタートし、、PC等の技術の進歩とともに段々とバージョンアップを行う。

何時しか行政が地図・GISを作製した暁には「メンテナンス」が確実に早く安くできる力を必要とします。故に私達が地図作りを目指すためには、ネットワークによる「素図」作りからはじめなければならないのです。そのためには「地域社会」

に根差した調査士各人が自分のフィールドを持ち、そのフィールド内の情報の収集整理に責任をもつ関係をつくるのが肝要です。一人1平方キ。から10平方キ。、各人に無理のない範囲でフィールドをもってネットワークを組めば、夢は現実性を持ってきます。

ほんの2～3ヶ月前までは、こんなビジネスは「言うは易し、行うは難し」でした。しかし、今日の諸々の課題は想像を絶するPC等の技術の進歩が解決しています。

「インターネット」をご存知ですね。「GIS」という地理情報システムを御存知と思いますが、道具立ては私たちの手の届くところにきています。無いのは基本となる「データベース（素図）」と「志」です。私達「志」を同じくする者が、この「データベース（素図）」作りに挑戦し、国民に新たな価値を提供する知識集約型の「足腰の強い職能集団」をつくります。いっしょに参加しませんか？

この趣旨と今後の運営方法については、第1回の会合の時に十分説明し、皆様の御意見を賜りたいと考えています。

平成7年9月

発起人 土地家屋調査士 **中川寿一**

TEL 0899-24-0400 FAX 0899-25-5646

御案内

「全国JOネットワーク」に入会の意志の有無	入会する	入会しない
会費 1ヶ月3千円・年会費3万6千円（平成7年12月1日より起算）		
「調査士による地図（不動産）情報研究会」に参加の意志の有無（研究内容は別紙素案のとうり）	参加する	参加しない
時期 平成7年12月1日午後1時から3日の午前中（2泊3日）		
場所 石川島研修センター（神奈川県綾瀬市）		
人数 100人から200人程度（8月末現在50会中31会参加予定）		
費用 1人5万円（資料・宿泊・食事代等）		

研究会に都合で参加できなくても、ネットワークに入会可能です。

申込者氏名		所属会	会
申込者連絡先			
申込者電話番号			
申込者FAX番号			

参加申込はFAXでお願いします。